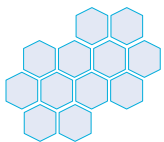


中本パックス株式会社 中期経営計画 【中期経営計画2024】

2023年4月18日

代表取締役社長 河田 淳



経営理念（社是）



経営目標（ビジョン）

「クリーン&セイフティ」

改質エコ技術でパッケージングの世界を変える

Nブランド製品の拡販と環境経営の推進

原点回帰でお客様満足度を最大化する

1. **安全とコンプライアンスの徹底による健全経営**
2. **全天候型経営（多様なジャンルをバランスよく伸ばし、特定業界の好不況に左右されない経営基盤を築く）**
3. **環境経営の推進（脱炭素社会及び循環型社会の実現、包装を通じて社会貢献、汚染予防への取組みを推進）**
4. **効率化による生産性の向上、製造原価低減、ロス削減を徹底し競争力を高める**
5. **技術、品質、サービス向上でお客様満足度を最大化する**
6. **海外事業の拡大により、グローバル経営を推進する**

中期経営計画目標指標と設備投資計画

(連結)

(単位:百万円)

	2023.2期 実績	2026.2期(中期経営計画最終年度)		
		計画	対比	
			差額	比率
売上高	43,128	49,000	+5,871	+13.6%
売上総利益	6,482	8,200	+1,717	+26.5%
営業利益	1,892	2,700	+807	+42.7%
経常利益	2,206	3,100	+893	+40.5%

ROE:13%以上(長期目標:15%)

海外売上比率:10%以上

Nブランド製品売上:35億円/年(5年後:50億円/年へ)

中期3年間の設備投資額は50億円(内10億円は海外)

環境経営
CO2排出削減
VOC排出削減

紙容器・生分解性樹脂・バイオプラなど
環境対応製品の開発強化、バイオマスインキ・バイオマス接着剤・水性接着剤等の積極採用でCO2、VOC削減
リサイクル、リペレット事業の強化

製造原価低減
主要事業・製品の収益拡大

原材料/製造工程/生産設備の見直し
や効率化、省力化、省エネ設備の導入を行い、収益の拡大に繋げる

積極的なM&A

規模の拡大、将来必要な技術、商権、生産設備は自社努力だけに頼らず
M&Aも活用して成長スピードを加速する

12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



IT・工業材 分野の開発強化

5G関連・半導体・スマートフォン・ディスプレイ・電池など今後増加が見込まれる分野のフィルムコーティング処方開発を強化、新型コーター機投資、分析機能を強化する

新規顧客獲得 新規製品の開発

技術部門、CSセンター、エンジニアリング部を活用し、新規製品開発を進め新規顧客を獲得する

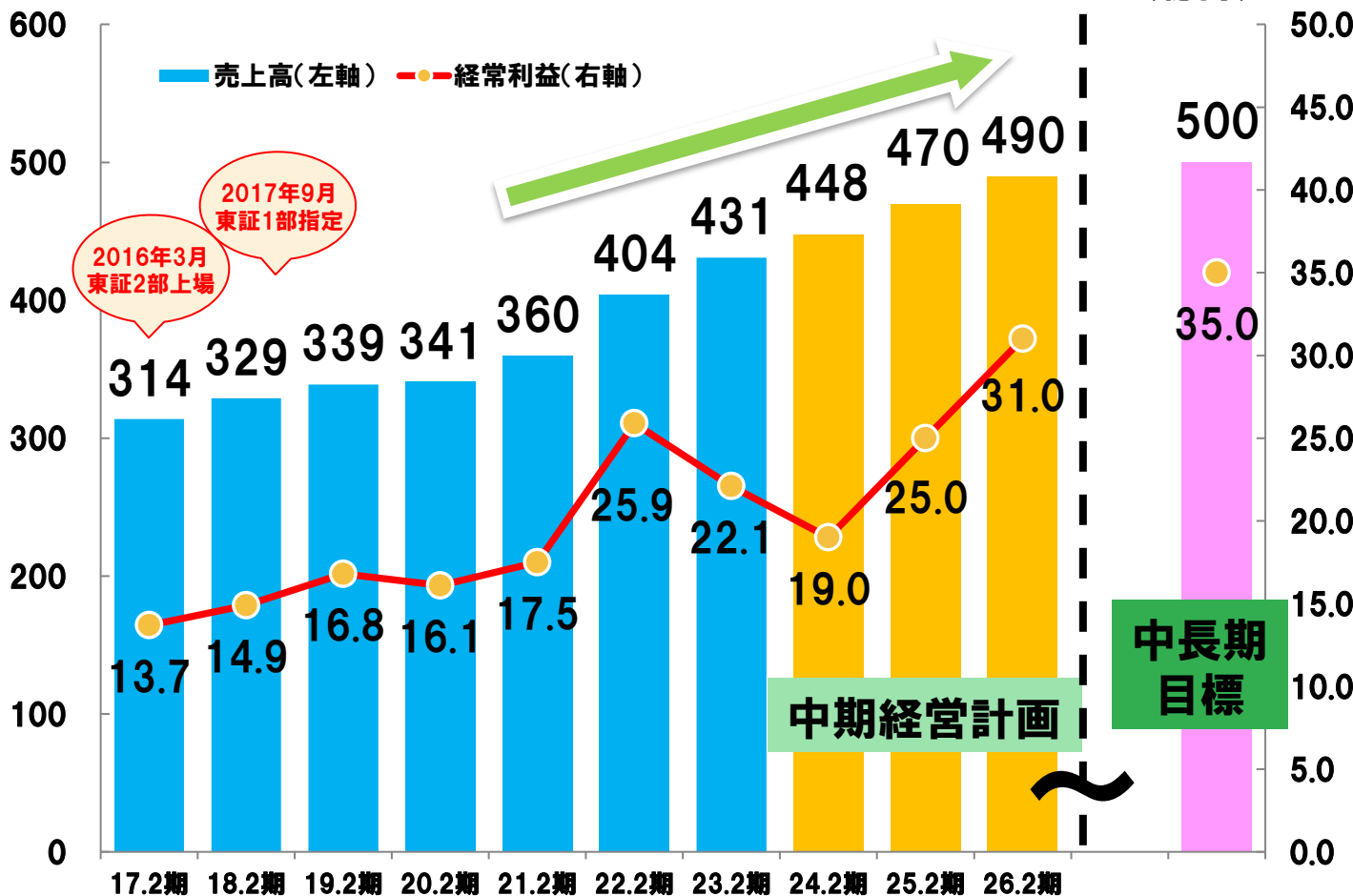
海外事業の拡大

成長が見込める海外事業を拡大する
ベトナム新工場の早期立上げと
アメリカでの販路拡大を進める。
3年以内に海外売上比率10%以上

中期業績目標(連結)

中本パックスグループ 業績推移+中期経営計画

(億円)



※2023年2月期以降の各目標数値については、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第 29 号)適用後の値です

主要な取組

- ◎機能性包材・環境対応製品 32億円
 - ・新機能性包材(28億円)
 - ※市場は数百億円
 - ・新環境対応製品(4億円)
- ◎IT・工業材 10億円
 - ・IT関連財市場の回復
 - ・ハイエンド品、新規商材の立上
- ◎M&A効果 15億円
 - ・中本FinePack山梨工場
- ◎その他 5億円
 - ・生活資材新ジャンル
 - ・建材新テーマ

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。